

六郷助けあいプラットフォーム

話し合いの場



令和元年 8 月 6 日 (火)

本日のタイムスケジュール

時間	内容
18：30	前回の振り返りと今回の流れの説明
18：45	話し合い①【活動報告と地域課題の芽】
19：15	多世代交流の場のしくみ 【放課後等デイサービスポジティブ】
19：30	休憩
19：40	話し合い②【多世代交流の場のしくみ】
20：10	話し合いのまとめ
20：30	終了

月1回の集まりの2時間を有効的にしたい 来年度の進め方の提案

- ・今度こんなイベントに参加してみる
- ・子どもに聞いたらこんなことが分かった
- ・今度こういう企画やってみようと思ってる。

18：30 「第1部」

現在の課題となっている子どもの実態把握と顔の見える関係づくり（交流の場の創出）の情報共有と次回までの行動目標について話し合う。

19：30～45 「第2部」 （必要に応じて実施）

- ① 「取り上げたいテーマ」をあらかじめ募集して話し合う。
- ② 勉強したいテーマについて学び合う。

20：30

プラットフォームでの効果とねらい

時間経過



予防的取り組み

学習塾
トレーニングジム
お祭り

子ども食堂
サロン活動
多世代交流

日本語教室



制度等による支援

学習支援 児童館

見守り活動

放課後等デイサービス

子ども家庭支援センター 児童相談所

地域包括支援センター

福祉事務所



もちろん社協も同じ参加者として
一緒に行動目標を立てますし
事業立ち上げなどの応援もします。

- 実態の共有
- 課題分析と整理
- 地域で出来ることの検討
- 連携して取り組めることの検討
- 行動目標を立てる
- 理解を深める

共有

六郷助けあい
プラットフォーム

参加者の
行動

- 実態の把握・発見
- 各事業の強化
- 活動の連携
- 新たな事業の立ち上げ
- 広報・呼びかけ
- 活動への理解・応援

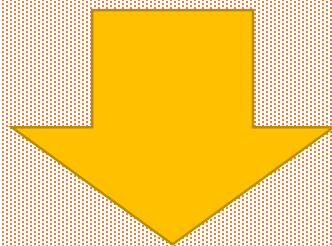


子どもを取り巻く状況

よく話題になる子どもの課題

- ・子どもの貧困
- ・虐待
- ・発達障がい
- ・いじめ
- ・不登校、ひきこもり
- ・学力低下
- ・体力低下
- ・非行(暴力)
- ・養育力の低下
- ・地域力の低下
- ・インターネット、スマートフォン問題
- etc..

課題の複雑化
課題の深刻化



複雑・困難

だからこそ連携が大切

発達障
がい

いじめ

ひきこもり

孤立・連鎖



見えるところと見えにくいところ

課題は同じでも立場・活動によって見え方やできることは異なる！

学習支援団体



低学力

発達障害
学習環境

いじめ・
嫌がらせ

居場所の
なさ

子どもの
孤立

衣食住

貧困

親の孤立

民生・児童委員



見守り

居場所
のなさ
つながり
のなさ

衣食住

子どもの
貧困

発達
障害

家庭
環境

親の
貧困

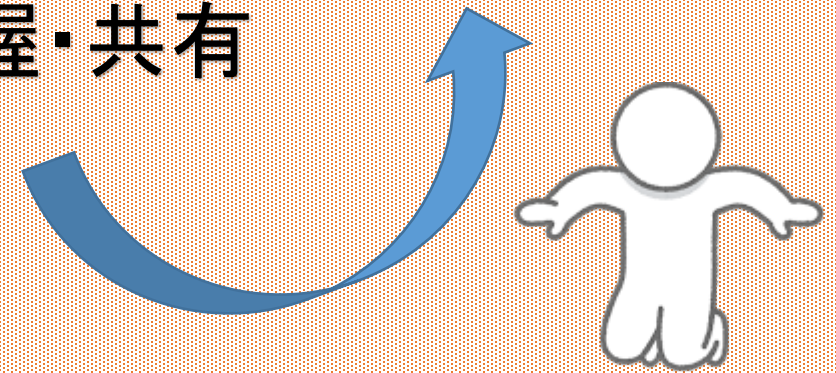
学習
環境

活動の報告・告知と共有

・月1回、報告・共有を実施することで

- ①お互いの活動内容を共有
- ②普段の活動から見えた地域の課題を把握・共有
- ③報告の場があることで把握力アップ

地域の
課題対応力
UP!

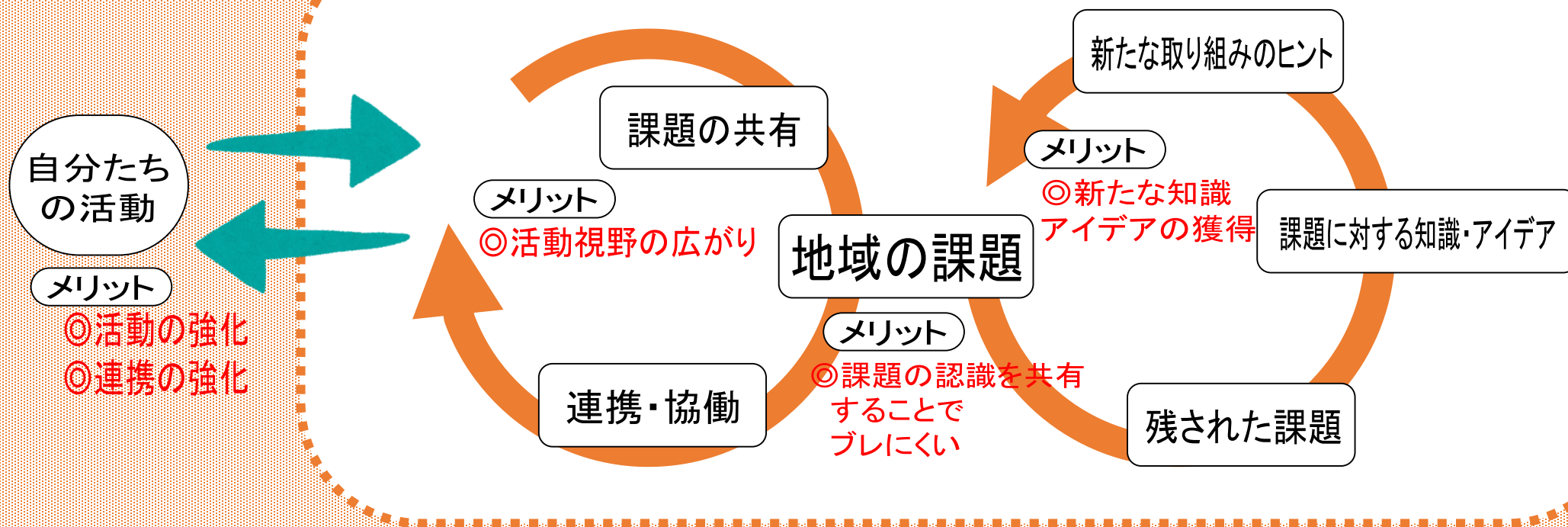


☆早期発見



参加のメリットは

六郷助けあいプラットフォーム



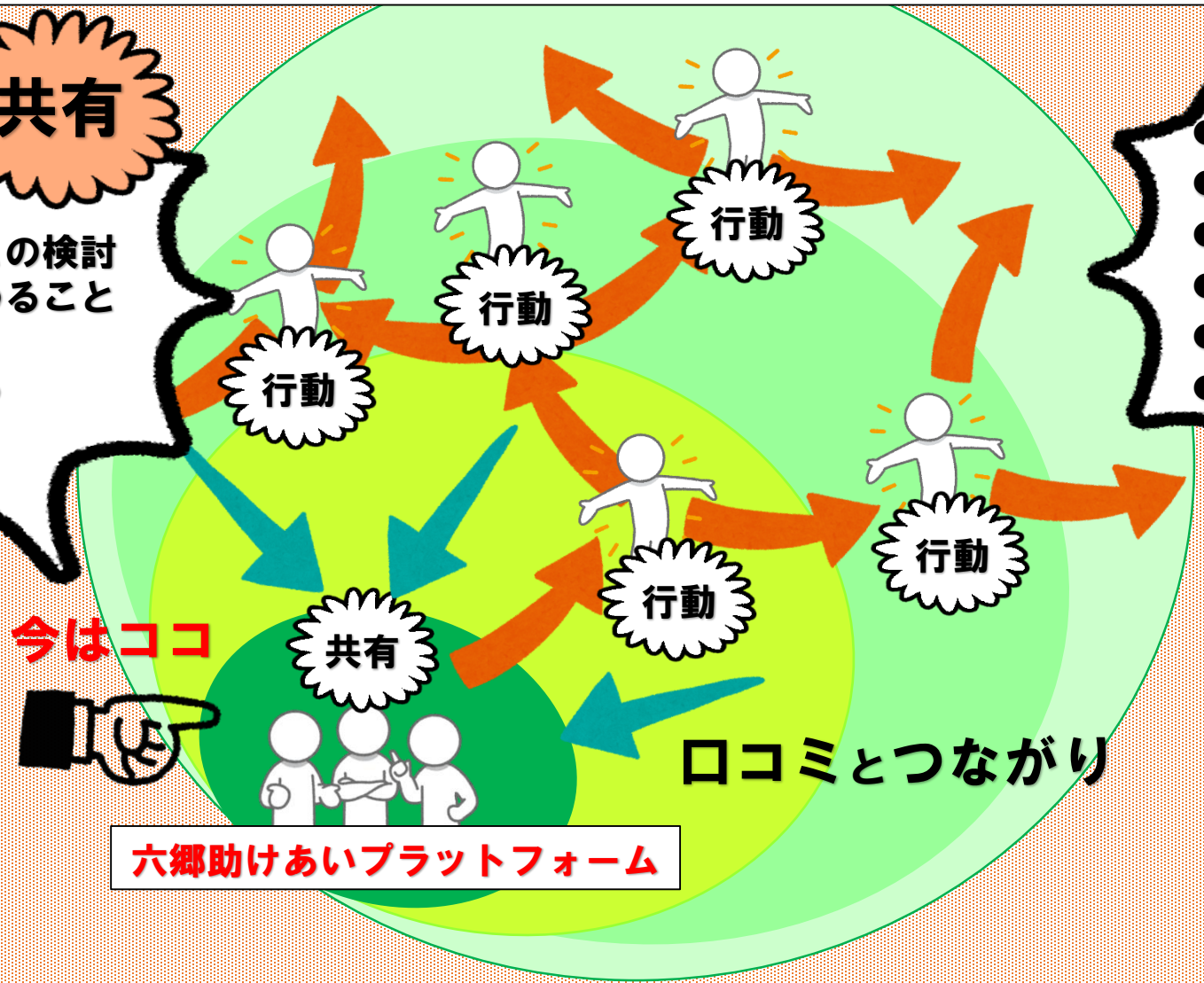
プラットフォームでの効果とねらい

六郷の子どもたちが（住民が）安心して暮らせるまちに

参加者の
行動

- 共有**
- 実態の共有
 - 課題分析と整理
 - 地域で出来ることの検討
 - 連携して取り組めることの検討
 - 行動目標を立てる
 - 理解を深める

- 実態の把握・発見
- 各事業の強化
- 活動の連携
- 新たな事業の立ち上げ
- 広報・呼びかけ
- 活動への理解・応援



六郷助けあいプラットフォーム

前回の報告

- 5者協でSNS利用の課題
- ボッチャ審判員講習参加
- 高齢者疑似体験で学校と連携、小さな頃からの体験が大切だと感じた。
- 6/22駄菓子屋さん参加。商店街を子どもの遊べる場所に。
- 保育園といこいの家で七夕祭り、高齢者も喜んでいた
- いこいの家、読み聞かせ乳幼児に実施



前回の報告②

- ・6/22・23 リーダー講習会で宿泊体験。キンボールやドッチビーを実施。子どもが楽しいと大人も楽しい
- ・品川子ども食堂サミットに参加。子ども食堂を行う意義について学べた。
- ・前回ふらっと食堂に、高校生くらいの女の子が来ていて気になった。少しお手伝いしてもらって過ごした。
集客と、やる目的の両立をしていきたい。
- ・西六包括と高畑児童館で高齢者疑似体験実施。
- ・ファミマ子ども食堂参加。日常的な顔見知りになれると良い
- ・6/22 駄菓子屋さん実施。116名来場。



前回の報告③

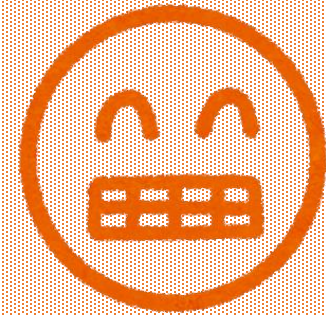
- ・子ども家庭支援センターに80代の方が息子の相談に来た。
また、40代の方がDV相談に来所。対象が違うがお話を聞いて専門部署につないだ。このような相談が増えてくるかもしれない。
- ・大田シュールで不登校の親の相談を毎月第3火曜日10:00に開放している。不登校の子は知られることが嫌なので地域とつながることの難しさがある。
- ・8050問題は、有名になったが、最近新たな課題があるのではと
思っている。それは、70 40 15問題。70代の初期認知症と40代
のシングルマザー、15歳の不登校の子ども。複合的な課題がますます
増えている。地域の方には気付いたらとにかく包括に連絡を
- ・時間によって空く店舗の利用してサロン等実施。



① 7/2までの活動報告
と
共有したい地域課題の芽



② 話し合いの場



「多世代交流の場のしくみ」



話し合いの内容

地図で状況把握



地域だからこそ出来ることは？



アイデアを整理

- ◎住民がSOSを出しやすく発見しやすいしくみ
- ◎地域活動に参加しやすいしくみ
- ◎まちに関心をもってもらうしくみ

しくみが整うために必要なことを考察

- 「交流の場」を地域住民が作ることによって顔のみえる環境を整備できる。
- 子どもや知り合いなど誰かと一緒なら参加しやすい。
- 子どものころからの関係づくりが大事。

上記3つのしくみを整備することが課題解決の最初の一步

◎見えてきたこと

- 公園に子どもたちが多く集まっている。
- でもその公園で子どもを見守るしくみが少ない。
- その地域、世代ならではの集まる場所がある。
- 地図上だけではわからない子どもたちの実態はまだ見えない。

◎見えてきたこと

- 大人が楽しそうに活動をしていることが町の良い雰囲気をつくる。
- 何か地域のためにやりたいと思っている人は結構いる。でもなかなか入るのが難しい。

前回の多世代交流のしくみのまとめ

①事業継続の方法

- ・駄菓子だけでは、赤字になってしまうのであればプラスなにかを販売することや、スペースを貸し出して出店料をとったり、他の団体とスペースをシェアすることで費用を抑える方法もある。
- ・また、駄菓子屋の後に駄菓子居酒屋を開催してそこで利益を上げる等の方法も。大人が楽しく募金できる方法を考えて実施することはどうか。

②SOSが発見できる多世代交流の方法について

- ・多世代交流については、共通に関心のあるものや関われるものが良い。例えば食事や盆踊りなど。
- ・SOSをつかむためには、単純に多くの人に知ってもらうことも大切。広報をしていくことや、相談先の一覧を配布することなど。
- ・課題が多様化しており、一つの団体では対応できない。常に地域で連携できる状況が必要。
- ・駄菓子屋というのは、子どもが気軽に行ける唯一のお店だった。今の時代はコンビニがそうなのではないか？コンビニが駄菓子屋のような顔の見える関係にならないだろうか。



- ・ 第1回カレー
- ・ 第2回牛豚丼



5/5 (日)
7/21 (日)
ぷらっと
食堂開催!

カレーも
牛丼も
美味しかったよ!

おたふく 300円
おたふく 100円
*各施設以下

ぷらっと食堂

子どもを大人を、おじいちゃんおばあちゃんも、"ぷらっと"食べに来て下さい!!!

5/5 (日)
11:30~14:00

*カレーライス
*サラダ
*スープ

おたふく ¥100
おたふく ¥100



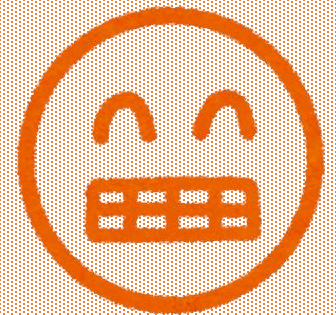
ぷらっと食堂の皆さん



放課後等デイサービス ポジティブ ぷらっと食堂

- ① 活動の概要、活動してみての感想
- ② 活動したからこそ見えた課題
- ③ 利用者の声やニーズ
- ④ 多世代交流のための工夫
- ⑤ 今後の予定、検討していききたいこと

- **SOSが発見できる多世代交流のしくみとは？**



次回 9/3(火) 18:30~

**普段の活動・生活から見えてくる
地域の課題の共有**

